



2024年2月29日  
第129号

# JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川一実  
編集 情宣担当  
ホームページ  
<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## イーハトーブ

2月29日号

人手不足の産業で外国人労働者を受け入れる在留資格「特定技能」について、政府は22日、自民党の外国人労働者等特別委員会で「自動車運送業」「鉄道」「林業」「木材産業」の4分野を追加する方針を示した。

特定技能は在留期間が通算5年の「1号」、熟練した技能が求められ、在留期間の更新回数に上限がない「2号」がある。今回追加する4分野は「1号」になり、鉄道では運転士・車掌・駅係員のほか、電気設備の整備や車両製造にあたる技術者の受け入れも想定することだ。また運転士・車掌・駅係員は他分野より高い日本語能力を課すとされている。

人手不足が顕著に表れていて休日出勤も絶えない中、即戦力となる外国人労働者を受け入れれば、休日出勤も解消されると思われがちだが簡単ではない。やはり長年の経験がものをいう仕事だけにハードルは高いし、様々なルールへの理解など安全の確保も課題である。

外国人労働者の受け入れよりもやるべきことがあるのではないか。それは今働いている人へ労働条件を向上することで離職させないことである。モチベーション向上の最たるものは賃金引き上げである。労働者は団結してこの難局を乗り越えよう！

(K・H)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちが外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。